

初めてのハーレー
買ったちゃいました!



PHOTO:増井貴光 Taka.Masui TEXT:青木隆夫 Takao Aoki

女の子が誰も乗ってないような スポーティな感じに。 とりあえず目立つ系でね!!

スラリとした細身のカラダで、鮮やかなオレンジが眩しい883Rに跨って恥ずかしそうに笑う。大町庸子さんはつい最近、ハーレーフリークの仲間入りを果たした。

昨年4月に中型二輪免許を取って、ヤマハSR400を購入した。シングルエンジンの鼓動やシンプルなスタイリングなど、とても気に入って、今年の4月までで1万キロを走った。

SR400でオートバイライフを愉しんでいた頃、ハーレー乗りの友人に誘われ、茨城県土浦市にあるハーレーダビッドソンデューラー、レインボーに足を運んだ。所狭しとピカピカのハーレーが展示されていたが、この時まさか自分がハーレーに乗るなんて、夢にも思っただけだった。

休日にショップが企画しているツーリングに、大町さんも誘われ参加するようになった。自分だけがハーレーに乗っていなかったが、周囲の人たちは仲間として迎入れてくれ、ショップのスタッフもハーレーを買うように勧めてくれるわけでもなかった。

そんな懐の広い人たちに囲まれ、だんだんにハーレーダビッドソンに対する興味が沸いてきた。迫力のあるVツインサウンドや鼓動感、シンプルな外装。また、ハーレーダビッドソンというオートバイそのものの魅力だが、それに乗る人たちも素敵だった。

「いつか買おうかな……」

そんな気持ちを少し抱くようになった頃のとある朝、起きたら、ハーレーが欲しくなった。

「よし、買いに行こう!」と決めた。大町さんは、いつも思いつきを大事にしている。ヤマハSRを手に入れたときも、とりあ

2005 XL883R

スポーツスター 883R

YOUKO OHMACHI 大町庸子(オオマチ ヨウコ)さん



取材協力：
ハーレーダビッドソン・レインボー
PHONE 0298-22-6666



エキゾーストは、OVERレーシングの2in1集合タイプに交換。883Rのパワー&トルクをさらに引き出す高性能マフラーだ。



「タコメーターはこだわった」というデジタル・タコ。スポーティなライディングを楽しむ大森さんにとって、タコメーターは必需品だ。



黒いエンジンがよかったという883Rのエボリューションエンジン。オレンジの外装と見事にマッチしている。



足つき性を考えてシートを交換。フロントのみ下げたら、足が届くようになったからリアローダウンは必要なかった。



サスペンションはフロントフォークのみ若干下げて、足つき性をよくした。883Rのダブルディスク装備も大のお気に入り。

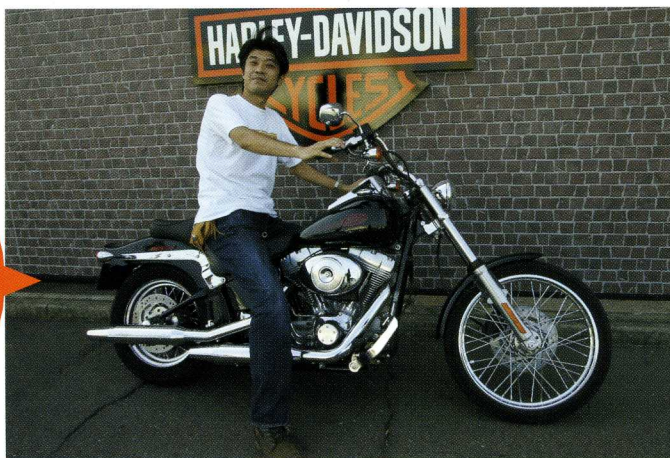
「な〜んとなく」
そんな気分で883Rを選んだ。
納車してから、スムーズに走れた。なんといっても振動があるエンジンが好き。
「女の子が誰も乗ってないようなスポーティな感じに。とりあえず目立つ系で(笑)」
883Rはすぐに自分好みにカスタムした。スポーティにカスタムしてガンガン走るのだ。
こんなふうに883Rを颯爽と走らせる女性。全国を探してもなかなかいないだろう。カッコイイったらありませんね。

「黒いエンジンが好きで、ちょうど黒エンジンの883Rが出たから。な〜んとなく」
車種選びの際にはレインボーのスタッフが親身になって相談にのってくれた。
足つき性を考えてシートを交換。フロントのみ下げたら、足が届くようになったからリアローダウンは必要なかった。

14

一番気に入っているのはハンドルバー。「これがよくて、このバイクを選んだところもあります」

2005FXST
ソフテイル・スタンダード
梅本 裕紀さん 33歳 会社員



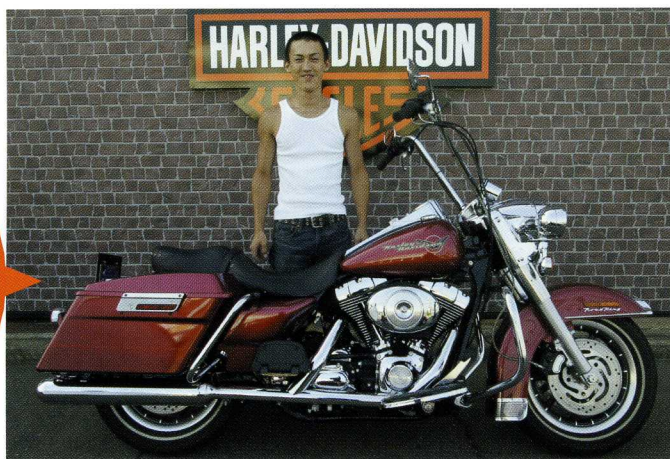
乗車ポジションで選びました

身長が197cmある梅本さんの相棒は、ソフテイルでもっともシンプルなFXST。ハーレーは、一般的な日本人より長身なアメリカサイズだが、彼がまたがるとずいぶん小さく見えてしまう。「それほど窮屈には感じませんよ」とは言うが、ハンドルをいっぱいに切ると、バーが膝に当たってしまいそう……。

15

「ノーマルでは、手がハンドルに届きづらかったけど、このバーなら余裕です」

2005FLHRロードキング
川端 一了さん 22歳
フリーター



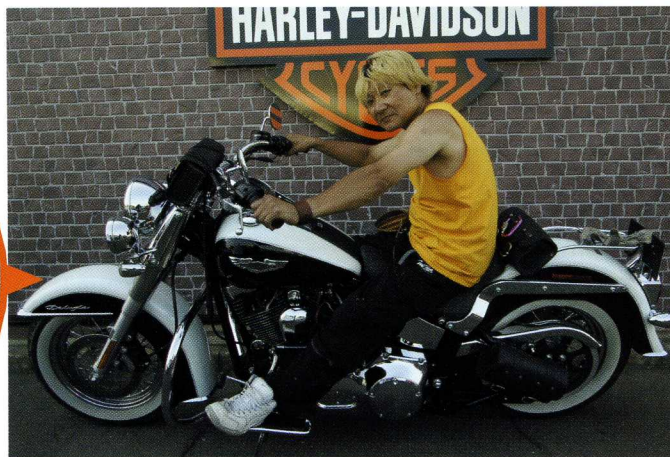
ローキンはリアビューが最高!

昨年12月からハーレーのオーナーになった川端さんは、ロードキングが愛車。両サイドのハードサドルバッグが好みでこのバイクを選んだ。「リアビューに迫力があるところが好きなんですよね。ウルトラだとデカすぎちゃうから、ローキンはちょうどいいです。この、タイヤが隠れてるスタイルが魅力だな。」

16

自分でベースを削って加工し、表張りもきれいに仕上げています

2005FLSTN
ソフテイル・デラックス
石塚 敏也さん 7歳
トレーラー運転手



やっぱりアイドリングがイいですよね

ヤマハのドラッグスター1100から、今年の6月に乗り換えたばかりという石塚さん。あれはあれでよかったそうだが、「やっぱり、あの3拍子のアイドリング音を聞いちゃうとね」、というのが購入の決め手だったそう。手に入れて数ヶ月だが、シートを自分で加工してしまうほどのこだわりよう。

17

エンジンが、ラバーマウントで揺れる姿がお気に入り

2004FLHRC
ロードキング・クラシック
飯田 豊さん 50歳 会社員

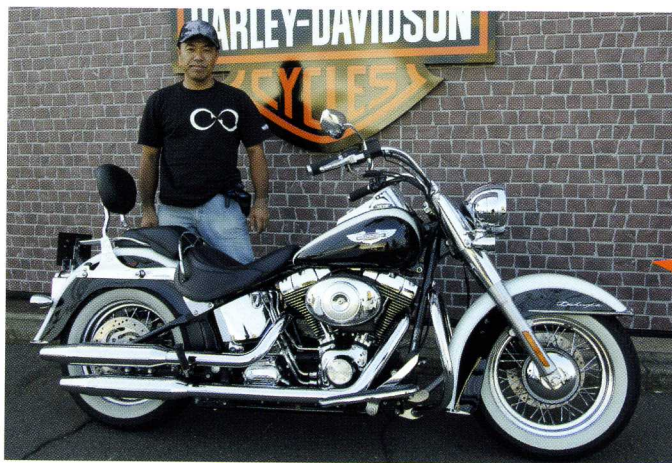


200~300kmのツーリングがちょうどいい

全体的なスタイルが好きだというオーナーが多いロードキング。飯田さんもやはりその一人。ハーレーには昔から憧れていたそう。普段の使い方は、200~300kmぐらいのほどほどの距離を走るツーリング。「あまり疲れなくて、心地いいぐらいの方が私は好きですね。」

タンデムも 楽しみたいです

「妻とタンデムがしくて、パット付きシーシーバーを付けました。でも一回乗せたら怖がっちゃって……」。シーシーバーに寄りかかることにも恐怖感を覚えたということで、その後グラブバーも取り付けけたそう。しかし、2度目の二人乗りはまだだとか……。「涼しくなったら、また誘ってみようかな」。



純正シーシーバーを装着。ライダー用シートにグラブバーも取り付けけた



18

2005 FLSTN
ソフテイル・デラックス
鳥羽 勝さん(45歳) 公務員

旅先の、一度限りの 会話が好きです

「あえてスポーツスターを選びました」と語る青柳さん。使い方はツーリング重視なので1200Cを相棒に選んだとのこと。月に1度はロングツーリングに出かけていて、中でも温泉がお気に入り。「一人で行くのが好きですね。旅先で出会った人と話したりするのは、いいものですから」。



ツートンで容量の大きいタンクと、ホイールがお気に入り

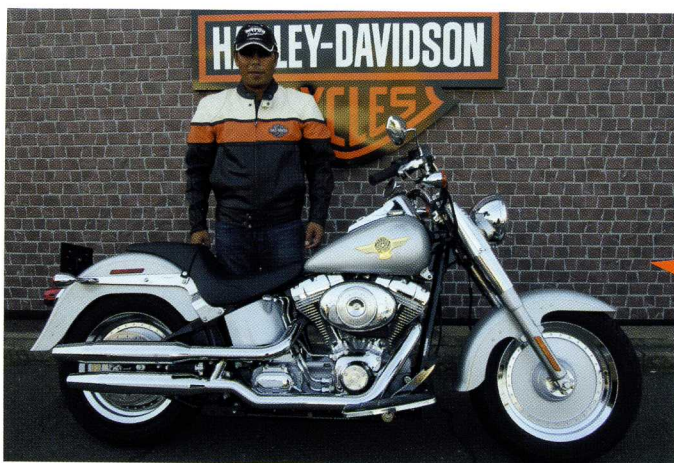


19

2005 XL1200C
青柳 敏之さん(23歳) 会社員

15周年モデルに 惹かれました

7月に納車したばかりの後藤さん。そろそろバイクを購入しようとショップめぐりをしていたところ、ファットボーイの15周年記念モデルと出会い、思い切って手に入れたそう。ハーレーに乗り始めてまず感じたことは、見知らぬひとからも声をかけられるようになったこととか。



15周年記念モデルの特別なエンブレムが、後藤さんのお気に入り



20

2005 FLSTF ファットボーイ
後藤 一明さん(30歳) 会社員

ブラックとメッキで キメてみました

もとはホワイトだったボディカラーをブラックに全塗装し、その他の部分にはクロームを多用してカスタムした1200Cに乗る佐々木さん。「もともとショップの展示車両だったものを、さらにいじってもらったんです。もっとチョッパーっぽくしたかったんですが、スタッフの方の薦めでとどまりました。おかげで走るのがラクですよ」。



初代ローライダースタイルの、ハーレーダビッドソンレインボーのオリジナルシートを採用



21

2005 XL1200C
佐々木 睦樹さん(46歳) 会社経営